

## 株式会社小野中村と市 市民等見守り活 動に関する協定

株式会社小野中村と本市は1月31日、平常時における市民等見守り活動に関する協定を締結しました。

当協定は、株式会社小野中村の営業車やトラックなどが市内を走行する際に犯罪発生などを抑止するため見守り活動を行うものです。

市役所で開かれた締結式で、植村賢二株式会社小野中村代表取締役と立谷市長が協定書に署名。

株式会社小野中村による見守り活動は、1月31日から行われています。



## 水道水・工業用水の設備強化および河川改修を要望

### 県と県議会へ提出

真野ダムからの導水管の強靱（きょうじん）化や氾濫した河川の改修に関する要望は1月28日、県庁で行われ、立谷市長らが内堀雅雄県知事と長尾トモ子県議会副議長に要望書を提出しました。

県庁を訪れたのは、立谷市長、大堀武新地町長、松浦隆太南相馬市副市長、高橋眞木雄相馬市誘致企業連絡協議会会長（株式会社A D E K A 相馬工場長）、高橋良二同副会長（株式会社I H I 相馬事業

所長）、中村仲相馬共同火力発電株式会社新地発電所副所長、馬目雅彦公立相馬総合病院副院長の7人。

要望書を受け取った内堀知事は「県として真摯（しんし）に受け止める。次の出水期までに道路のり面を復旧するとともに、導水管の布設ルートへの検討や地質調査、設計を行って復線化を進めたい。また、国と協議を行いながら河川改修も進めたい」と述べました。



## 防災マップで審査員特別賞 こすもすクラブ（西部子ども公民館）



西部子ども公民館の放課後児童クラブこすもすクラブに通う児童7人（小学校4～5年生）は2月3日、第16回ぼうさい探検隊マップコンクールで審査員特別賞を受けたことから同公民館で表彰を受けました。

同児童クラブは毎年「こすもす探検隊」を結成しマップ制作に取り組んでおり、今回は防災をテーマに設定。

昨年10月に猛威を振るった台風19号および21号の災害から断水や水害、また集積された災害ごみに着目し、10月末ごろから約1週間をかけ、マップを完成させました。

マップ制作に取り組んだ児童らは、被害箇所から避難経路や避難場所を確認し、断水からの教訓として備蓄の大切さなどをマップに盛り込んだことが評価され、今回の受賞となりました。

また、川原町児童センターの「みつばち探検隊」もマップを応募し、佳作を受賞しました。

## 福を呼ぶ豆まき ふるさと行事「福節祭」



ふるさと行事の「福節祭」は2月2日、相馬神社で開催され、福を求めて多くの市民らが訪れました。

節分に合わせて、無病息災・早期復興を祈願し、同神社と相馬水産加工工業グループの主催で、8回目の開催。

神事が行われた後、15人の有志が上半身裸で冷水をかぶる寒中みそぎ、松川神楽保存会や原釜敬神部による神楽奉納のほか、氏子らによる豆まきが行われ、詰めかけた市民らは「福は内、鬼は外」の掛け声とともにまかれる豆に手を伸ばして福を呼び込みました。

## 夢をかなえるために スポーツ笑顔の教室

スポーツ笑顔の教室は1月22日、八幡小学校の5年生15人を対象に開催されました。

訪れた夢先生は、ブラジル出身で2012年に日本国籍を取得し、日本代表としてFIFAビーチサッカーワールドカップなどで活躍している茂恰羅（モレイラ）オズ選手。参加した児童らは、体育館で子どもたちと一緒に体を動かす「ゲームの時間」でボールを使っただるまさんが転んだなどで体を動かしながら、チームで勝つために相談し、

互いに声を掛け合って協力することの大切さを学びました。教室で夢先生の体験談をもとに夢を持つことの素晴らしさを伝える「夢トークの時間」で、オズ先生は「日本国籍を取得するのは大変だったけれど、日本が大好きなので、日本人としてワールドカップに出たいと思いいました。周りの人に助けられ、その夢がかなったときは本当にうれしかった」と話し、夢をかなえるために、あきらめないこと、チャレンジすること、助け合

うことを大切にしてほしいと児童に伝えました。



## 観光の復興に期待 復興市民市場安全祈願祭



復興市民市場の安全祈願祭は1月24日、尾浜地内で行われ、関係者約60人が参加し施設建設の安全を祈願しました。

神事が行われ、立谷市長や菊地清次市議会議長などが玉串を奉納。

立谷市長は「今年は復興創生期間の最後の年となるが、風評被害とはこれからも戦っていかなければならない。この復興市民市場を活用して、風評被害の払しょくに努めたい」とあいさつしました。

同施設は、水揚げされた魚や地元農産物の販売などを通じて風評被害の払しょくを図ること、観光復興の柱となることを期待して建設され、9月末の完成を目指します。

## 力作が並ぶ 支援学校即売会



県立相馬支援学校の作業製品展示即売会は2月4日（5日、シヨッピングタウンベガ・イオン相馬店で開催されました。

展示即売会は、同校の作業学習で制作した刺し子製品や手すき和紙カレンダーなどの品物を展示即売するもので、学校での教育活動を知らせる啓発活動の一環として毎年開催。

製品を購入した方には、生徒が入れたコーヒーマグが振舞われ、訪れた人たちは、生徒たちとの交流を楽しんでいました。

## 相馬双葉漁協無事故を達成 漁船セーフティラリー

漁船セーフティラリーみちのく2019の無事故達成に対する認定証交付式は2月6日、相馬双葉漁業協同組合で行われ、立谷寛治相馬双葉漁業協同組合代表理事組合長が認定証を受けました。

漁船セーフティラリーみちのくは、安全操業・運行の声かけ運動などを行って東北地方における海難事故の多数を占める漁船事故を減らすことを目的に、県内は2017年から3カ年計画で実施。

相馬双葉漁業協同組合は、2019年のラリー1期間である10月1日から12月31日までの期間において無事故を達成したことから認定証の交付を受けました。



## 相馬の秋を1枚に 紅葉フォト コンテスト表彰式

相馬の秋（紅葉）フォトコンテスト表彰式は1月30日、千客万来館で行われ、関係者15人が出席しました。

当コンテストは市内の地域資源を発掘し、観光振興の一助として活用することを目的に、市観光協会が主催。

市内外から応募のあった28点の中から12点が入賞し、坂本禮三さん（福島市）の涼ヶ岡八幡神社で撮影した「深まりゆく秋」が最優秀賞に選ばれました。

入選作品は、今後、市観光協会パンフレットなどで活用される予定です。



## ジャズバンドによる迫力のステージ 第66回そうま音楽夢工房



そうま音楽夢工房第66回演奏会「SUNNY'S JAZZ LIVE in 相馬!」は2月8日、市民会館で開催され、約150人の市民らが音楽を楽しみました。

SUNNY'S（サニーズ）は国立音楽大学のOBにより結成されたバンドで、相馬高等学校卒業生の阿部舞理奈さん（新地町出身）がサクソ奏者として所属していることから、今回のコンサートが実現。

演奏会は、大ホールのステージに演奏スペースと観客席を設置した特設ステージで行われ、ジャズのスタンダードナンバーである「Moanin」のほか、マイケルジャクソンの「スリラー」、ゲームソフトのテーマ曲などジャンルを超えた楽曲が披露されました。

訪れた市民らは、手拍子などを交えながら、7人の迫力ある演奏を楽しんでいました。



## 片付けで心もスッキリ

### 市女性団体連絡会講演会

市女性団体連絡会講演会は2月9日、市民会館多目的ホールで開催され、約220人の市民らが参加しました。

断捨離提唱者やましたひでこ氏公認のこばやしりえさんを講師に迎え、「片付けが苦手なあなたの心がスツと軽くなる」断捨離で住まいも心もスッキリ快適生活」と題して講演が行われました。

こばやしさんは、「片付けることで思考や心の片付けにもなる。時の経過で物との関係が変化していることに気づ

き、関係が終了した物を片付けること」と参加者に伝えました。

なあなたの心がスツと軽くなる」  
りえ 氏



## 涼ヶ岡八幡神社で消防訓練

### 文化財防火デー

幡神社（坪田）で行われました。当日は消防署、市消防団、市女性消防隊、地域住民などの関係者ら約150人が参加。

訓練は本殿西側の杉林から火災が発生し速やかな119番通報を行い初期消火をしたものの、本殿に延焼の恐れが出たため、消防隊および関係者らによる重要品などを搬送するもの。

関係者らはきびきびとした動きで一つ一つ訓練を行い、万一の火災に備え、防災意識を高めました。



文化財消防訓練は1月26日、国指定重要文化財の涼ヶ岡八

寄付ありがとう  
相双五城信用組合

相双五城信用組合による寄付は1月30日、市役所で行われ、梅沢国夫同信用組合理事長、穴戸章治同信用組合常務理事、武田桂一同信用組合本店長ら5人が訪れました。

同信用組合は、昨年に地方創生応援定期預金「駒むすび」と災害復興定期預金「結の力」を販売し、その販売額の一部を、地方創生の促進と昨年に甚大な被害を受けた台風19号などの大雨からの復興支援を目的に寄付を行いました。

寄付金を受け取った佐藤憲男副市長は「いただいた寄付金は大事に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。

## 炊飯器で挑戦

米麴を使った甘酒づくり教室は2月12日、中央公民館で開催され、市民ら10人が参加しました。

温度管理が難しい米麴甘酒を炊飯器を使うことで手軽に作り、健康づくりにつなげることを目的に開催され、生涯学習推進本部の主催。

当日は、小関善之玉野公民館長が講師を務め、参加者は米麴とご飯を使って米麴甘酒づくりに挑戦したほか、市栄養士による米麴甘酒の効能な

## 注意を呼びかけ



冬の防犯パトロール出発式は1月20日、市役所で行われ、関係者20人が出席しました。式で、佐藤憲男副市長は「安心して暮らせる街づくりに協

## 甘酒づくり教室

どの話をメモを取りながら真剣に聞いていました。



## 防犯パトロール

力をお願いします」と述べました。

市西部地区防犯協会協会の会員らは、田町通りや駅前などへ防犯パトロールに出発し、相馬警察署署員とともに店舗などを巡回。

店主などに防犯啓発グッズを手渡し、「車上狙いが多発しているので気を付けてください。車から離れるときは、車内に貴重品を置かないようにしましょう」など、犯罪への注意を呼びかけました。

冬フェスで世代間交流  
東部子ども公民館

東部子ども公民館冬フェスティバルは1月18日、当公民館で開催され、地域の子どもたちや親子連れでにぎわいました。

イベントは、地域の子どものたちの触れ合いや高齢者との世代間交流を目的に、社会福祉法人報徳会の主催。

会場には、年の初めにちなんだ運勢を占うルーレットゲームや福笑い、昔遊びとして将棋やオセロなどが企画され、子どもたちは遊びを通して高齢者との世代間交流を体験しました。

また、イベントの終わりに豚汁も振る舞われ、参加した親子らは豚汁を味わいながら会話を楽しみました。

屋内スポーツ施設を  
より使いやすく  
要望書提出

屋内スポーツ施設の照明使用料金の軽減に関する要望書の提出は1月31日、市役所で行われました。

訪れたのは、阿部孝志市体育協会会長、真鍋昭由市体育協会副会長の2人。

市内の屋内スポーツ施設の照明使用料金を軽減し、施設の利活用を促進することによって市民の健康づくりを行うことなどを目的に要望書が提出されました。

要望書を受け取った立谷市長は「十分に検討し、実現に向けて各方面と調整します」と述べました。

